

## 2020年 高大接続改革！(その9)

### ～見えてきた！？大学入試制度の現況について～

6月に大学入試センターにて『大学入学共通テスト』における問題作成の方向性を公表しております。幾分固まりつつあるものの、まだ、不透明な部分もあるようです。ざっくりとですが、以下のようにまとめてみました。

- ◆ 既卒生用の問題は作成しない。  
…現在の高校2年生のセンター試験が最後のセンター試験となります。以前までは「移行措置」として変更期には浪人生用の問題が作成されていましたが、今回はそのような措置を取らないと明確にしています。
- ◆ 共通テストの記述式に関しては、問題形式がより具体化されています。具体例として、以下の通り。

#### 《国語》 記述式3題で大問1問を構成。

- 解答文字数は「20～30字」、「40～50字」、「80～120字」程度。
- 成績は段階別(マーク式問題の配点とは別)。
- 小問はそれぞれ4段階。大問(総合評価)は5段階。
- 実用的な文章、論理的な文章、あるいは両方を組み合わせた題材。

#### 《数学》 マーク式と混在で記述式小問3問。

- 段階別評価は行われず、マーク式問題と同様に配点される。
- 数式を記述する問題、または問題解決のための方略等を端的な短い文で記述する問題。

数学の筆記試験対策は日頃からの練習・積み重ねが大事になるね!!



- ◆ 外部検定については、受験生個人に成績管理のためのIDを発行。
- ◇ 大学に提供する成績は、科目別段階別評価(9段階程度)を「参考情報」として提供することも検討。
- ◇ 各科目の「問題作成の方向性」は、全体的には「多面的・多角的に考察する能力」や「実際の現象に対しての概念や法則を用いて考察する能力」が挙げられています。国語のマーク式の成績は、これまでの私立大はセンター利用では現代文がメインでしたが、現古漢全体での提供が原則となり、英語も筆記とリスニングを均等配点で実施する可能性も出てきています。11月に行なわれている試行調査結果でまた変わってくる可能性もあります。

高校1年生以下の受験生は、新しい入試制度を逐一、HPや進学雑誌等で情報収集するよう心がけましょう。



## 効率の良い勉強に関して考えてみよう!!

定期テスト対策の勉強期間に入り、高3生はセンター試験まで残り2ヶ月少し! 皆さん勉強とがっちり向き合っている時期かと思えます。勉強は「面倒くさい」「大変」「難しい」、...等々思いながら頑張っていると思いますが、「効率よく覚え」「効率よくテストで点数を取れる」ようになりたいものですね。今回は「どのようにしたら『効率の良い勉強』になるか」を色々考察し、お話してみようと思います。

まず、一番大事なことは「規則正しい生活」をすることかと思えます。『しっかりご飯を食べ、しっかり睡眠を取る』という事が、良い脳を作り、精神的にも安定する心を作り、最も良い状態で物事を吸収できます。また、風邪もひきにくくなり、学校での居眠りや休みも減り、授業の取りこぼしが少なくなります。睡眠は、中高校生は7時間～9時間の睡眠が良いという研究結果も出ており、また朝もしっかり早起きし、日の光を浴びて、目を覚ますことも脳に良いとされています。当たり前の事ですが、日々の「規則正しい生活」の積み重ねが、最終的に色々乗り越えていくための基盤となります。

次に基盤となるのが「メリハリのある生活をする」ということです。ダラダラした生活は、脳の『前頭前野』の成長を妨げます。『前頭前野』は、人の思考や創造性を担う最も大事な部分で「よく考える」という行動で、ものすごく鍛えられます。また、前頭前野の機能として「ワーキングメモリー、反応抑制、行動の切り替え、プランニング、モチベーションの意思決定、社会的行動、...」等々多岐にわたって働いている部分でもあります。「漢字を書いて覚えたり、計算したり、読書したり...」と勉強することで沢山鍛えられ、成長をします。逆に「考えることを行なわない、楽なことばかり考える、面倒くさいことを行なわない」など、「考えない」「楽に覚えようとする」ということばかりだと鍛えられません。

この『前頭前野』は二十歳くらいまでに発達・成長しますので、ダラダラ楽なことばかりに流されると、全くもって「創造性のない人」になってしまいます。メリハリを意識するという事は、自分の行動を把握して、コントロールすることになるので、ものすごく脳を使います。時間を決めて、目標を決めて動くこととなりますので、勉強を集中して行なう上でも「メリハリを意識する」ということは大変重要です。



今回は「効率の良い勉強について」というテーマで考えてみましたが、効率を上げるためには「面倒くさいこと」を積み重ね「自分を鍛え、自分自身の能力を上げていく」という事が一番大事かと思えます。勉強をする上での最も大事な「道具(健全な脳・思考の仕方)」を継続して創って改善していけば、「より良く考えることの出来る道具」になっていき、「より良く、効率の良い勉強」につながっていくのかな、と思います。「学問に王道は無し」とよく耳にしますが、便利になってきている世の中で、「考えること」を楽にしてしまうと「創造性がなくなる」ということにつながるのかと思います。しっかり「面倒なことに目をむけ、大変なことをこなして、乗り越えていくこと」こそ「学問の王道」であり、地道な積み重ねが「効率よく勉強すること」につながるのだと思います。大変ですが、あせらず、地道に、一つずつ、しっかり目の前のことをこなしていきましょう。

## 中学生統一テスト 開催中!!

英智学館塾生、中学生1・2年生対象に「英智学館統一テスト」を実施します。国・数・英の3教科の基礎学力を測るものですので、必ず受験をお願いいたします。

- 受験期間・時間 12月中旬～1月31日まで 各教科50分
  - 受験場所 各教室 ※一斉実施や日時指定の教室もあります。各校にお問合せください。
  - 受験料 1,080円 / 冬期講習会受講生は無料!!
- 2月中旬に個人結果表が教室より返却されます。志望校判定もありますので、必ず受験しましょう!!



今月の格言・金言 「チャンスというのは、準備を終えたものにだけ、微笑んでくれるのです」  
～キュリー夫人～

伝記でもお馴染みマリー・キュリーは、放射線の研究で20世紀初頭に2度のノーベル賞を受賞したポーランド出身の人で、元祖「リケジョ」の一人といえるかもしれません。真理を突き詰めていく探究心は群を抜いていました。

英語だと、“Something as a chance smiles at only the person who has finished preparing.” 成功の可能性を高めるために日々準備に準備を重ねていった人生だったからこそ彼女からこんな名言が生まれたのでしょう。テスト対策・受験勉強、そして将来の仕事にも重ね合わせられますね。